

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：マフィス白楽ナーサリー	種別：認可保育所
代表者氏名：境 みどり	定員（利用人数）：54名(47名)
所在地：〒221-0802 神奈川県横浜市神奈川区六角橋1丁目20-19	
TEL：045-642-5006	ホームページ： https://www.maffice.com
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2021年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：オクシイ株式会社	
職員数	常勤職員：11名 非常勤職員：9名
専門職員	園長1名（常勤） 主任1名（常勤）
	保育士7名（常勤） 栄養士2名（常勤）
	保育士5名（非常勤） 保育補助3名（非常勤）
	栄養士1名（非常勤）
施設・設備の概要	保育室：5 トイレ：子ども用2、大人用2
	調理室：1 事務室：1
	園庭：有（ウッドデッキ）

③ 理念・基本方針

【保育理念】

・一人ひとりの個性を尊重することで、「自分らしさ」を引き出し、存在価値を認める保育の提供をする

【保育方針】

・一人ひとりに寄り添った愛情深い保育、各年齢に沿った養護と教育を取り入れた保育を実施し、他者への愛情と思いやりのある子ども、そして自己肯定感の高い子どもを育成する

・素材を生かした食事で子どもの味覚を育てる

・働く保護者の方の大きな見方になり、子育てを楽しみながら、また安心して働くことができるよう応援する

④ 施設・事業所の特徴的な取組

東急東横線「白楽駅」下車徒歩2分と駅から近いところに位置しています。閑静な住宅街の中にあり、電車の音が聞こえることはなく、落ち着いた雰囲気です。

園にはウッドデッキがあり、水遊びを行ったり0歳児は外気浴を楽しんだりすることができます。

近隣には公園も多くあり、子どもたちと話し合いながら行先を決めています。

主活動も活動内容を保育士が決めるのではなく、子どもたちと一緒に話し合い何をして遊ぶかを決めています。

朝の会では、子ども達の話し合いの時間を大切にしています。

食事については「子どもの味覚を育てる」ことを大切にしているので、食事を楽しい

時間に出来るように工夫をしています。
 また、決まった時間に一齐に食事をするのではなく、準備をができた子どもから食べ始めます。特に0歳児・1歳児は、それぞれの生活リズムに合わせて食べ始め、食事時間や睡眠時間についてはそれぞれの日課に合わせて柔軟に対応しています。
 生活も遊びも主体的に行うことを大切に保育を行っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年5月12日（契約日）～ 令和6年1月25日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	回（年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)様々な食育を通じて異なる文化や食事を楽しんでいます
 食事は、2週間の繰り返し献立になっています。1度出された苦手な食材が2回目に出た時に口にできることへつなげています。食育では、毎年テーマを決めて様々な食に触れる機会をつくっています。今回のクッキングでは、バナナシェークを作りました。昨年度は、日本のご当地食について毎月、地名や食事の名前を伝え触れています。今年度は世界の食事として世界地図を用いて国の位置など名前を伝え、日本食以外の食事の由来や食材を伝えて食べる機会をつくり、食に関する豊かな経験ができる活動を積極的に行っています。食べ始める時間、座る席も子どもが決めて食事を楽しんでいます。

2)保育の振り返りと共有を通して、子どもの育ちにつなげています
 子どもの思いに寄り添いながら、子どもの主体性を大切にする保育を心がけています。8月より異年齢保育を実践しています。職員は、異年齢保育を始めて子どもの姿から様々な環境に変化をもたせることで、子どもの発見や課題の対応の仕方などの気付きにつながっています。午前中の子どもの姿に対して保育の環境がふさわしかったか、昼礼や職員会議で話し合っています。異年齢保育を通じて、社会性や協調性、思いやりの気持ちなどが育まれています。年長児が自分より年下の子をお世話したり、手助けをしたりする姿が見られ、相手を思いやる気持ちが芽生えています。子どもたちが年齢の枠を超えてお互いに学びを得て成長し、子どものより良い姿へと育まれています。

3)ICT化の良さを生かして、保護者との信頼関係を構築しています
 保護者への連絡は通信連絡アプリケーションを活用して、連絡帳、緊急時の一斉メールを配信をしています。連絡帳を通じて日中の子どもの様子を写真を添えて伝えたり、体調面で気になることがあれば、個別で連絡することで保護者の安心につなげています。子どもの活動内容は、写真を通じて子どもの生活の見える化を図っています。アンケートから安心・安全面において園の対応について100%の回答を得ています。ICT化の良さを生かした保育の見える化を実施することで保護者との信頼関係が安心へつながっています。

4)事業計画内容の具体化と中・長期の目標達成
 園が直面している課題は、人員体制の確立、保育の質の向上、保育観の統一と考えています。今年作成した「中期計画」には、それらの課題に対する率直な現状分析と、3年後の姿、最終的な姿を具体的に明示しており、課題解決への前向きな姿勢が現れています。今後は「中期計画」で明らかにした課題を単年度の事業計画に一つひとつ反映させ、評価、検証を積み重ねて、目標に到達していただくことが望まれます。

5) 子育て支援の取組

当園はシェアオフィスを併設しており、子どもを園に預けながら、希望する保護者が隣のオフィスで仕事をすることができます。時代や社会の変化に応じて、働きながら子育てをしていくための新たな選択肢、新しい生活スタイルを生み出しています。今後は、保育所としての専門性を地域に還元していくような、育児相談や子育てネットワーク作りなどの取組が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度、福祉サービス第三者評価を受審し、当園の提供している保育サービスの質について、専門的かつ客観的な立場から評価をいただきました。

当園は開園3年目、今年度より施設長の交代もあった中での、初となる第三者評価の受審となりました。全職員を3グループに分け、専門分野または専門分野外の評価も皆で話し合っ決めていくことが出来ました。その中で園の課題を再確認することができました。

評価結果については、保育施設としてあるべき姿、現在の問題点などが理解できました。

評価の高い点については、今後さらに推進し、改善を求められた点については、十分検討を重ねたうえで、職員一体となり、福祉サービスの質の向上に努め、より良い施設を目指していきたいと考えています。

最後になりましたが、保護者の皆様にはアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

マフィス白楽ナーサリー
施設長 境 みどり

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり